

とうべつ

手にとって ^{ぐ~っと}good 身近に

議会だより



No.205

令和3年5月1日発行

CONTENTS

3月定例会

町長・教育長の執行方針に対する代表質問・・・ p. 2

4会派4人の代表質問、予算審査特別委員会、常任委員会

4人の議員が町の考えを質す・・・ p.12

一般質問

新たな除排雪体制、新駅、新校舎・・・ p.16

令和2年度補正予算等審議



とうべつ学園建設工事現場（下川町）

令和3年度当初予算

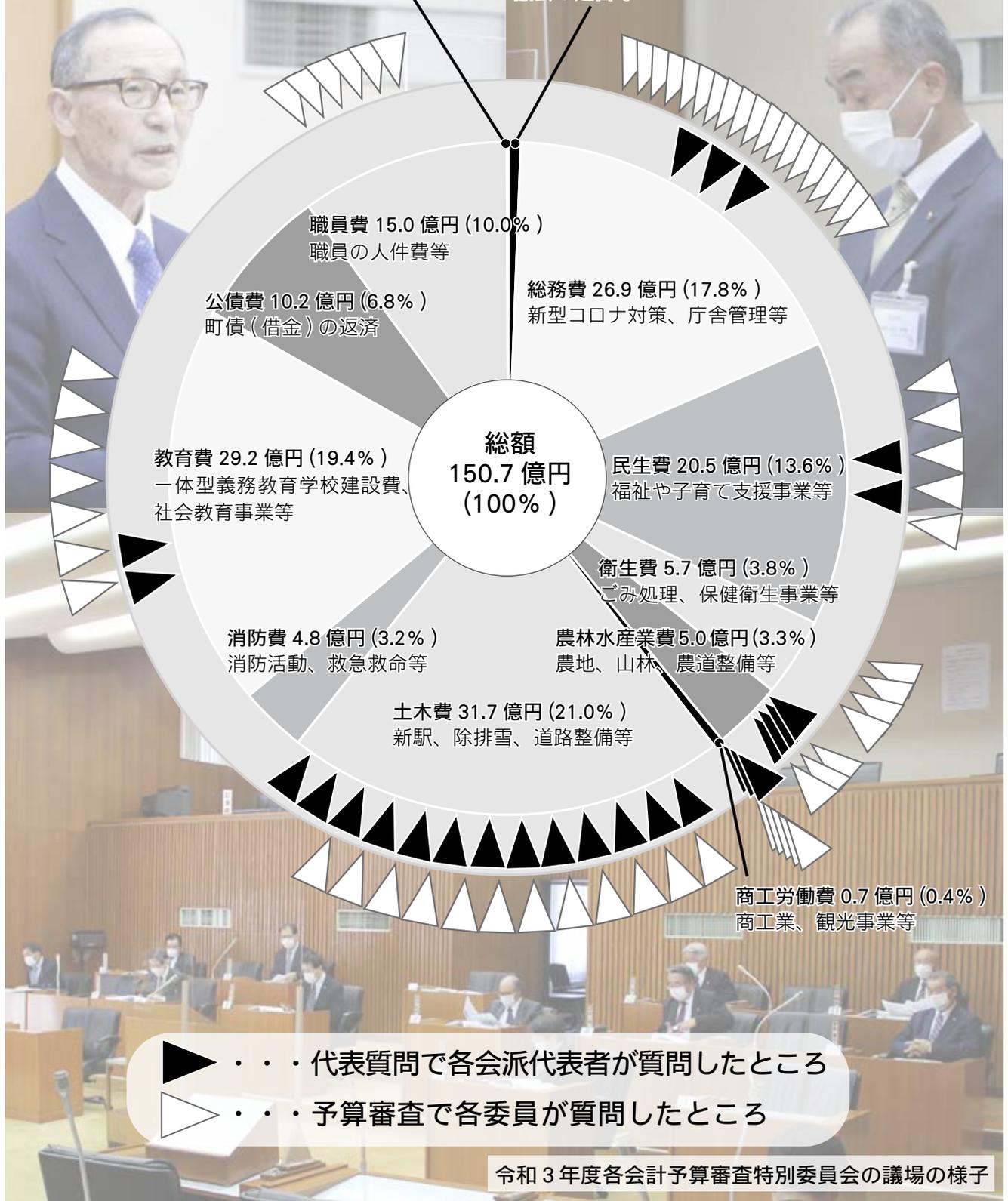
私たちは、ここに注目しています！

一般会計歳出

※一般的な行政にかかる経費の支出

本庄教育長

宮司町長



- ▶ . . . 代表質問で各会派代表者が質問したところ
- ◀ . . . 予算審査で各委員が質問したところ

令和3年度各会計予算審査特別委員会の議場の様子

代表質問 会派清新 岡野 喜代治 議員

ここからは

代表質問 会派代表者が町政・教育行政執行方針に対して質問をしました。

質問の
ねらい

新年度予算、事業はどう進めるか

令和2年度は、コロナ禍により当別町においても経済活動が制限されたため、町税が大きく落ち込むことが想定される。町長は、ふるさと納税の取り組み強化により埋め合わせをしているが、令和3年度の歳入、

歳出について、どのように考えているのか。また、各事業をどのように進めようとしているのか。新年度予算の執行にあたり、町長の任期は残り5カ月ほどとなるが、7月町長選挙に向けて、出馬の意向はあるか。



ふるさと納税記念品カタログ 2021

ここが
聞きたい

ふるさと納税取り組み強化

問

ふるさと納税は、事業者や生産者等の努力により、町長就任から現在までで55億円を超え、町財政や地域産業力向上に貢献している。さらなる取り組み強化とは、どのように進めるのか。

答

返礼品メニュー充実や数量確保、広告宣伝が重要。また、新たなポータルサイトとして、新年度から楽天とANAの導入を考えている。新たな寄附者獲得、リピーター確保を実現していきたい。

ここが
聞きたい

とうべつ学園環境整備は

問 とうべつ学園は、子どもたちの学びや健全な成長^{あいさよう}の心を育む教育の場となるべく開校に向けて進めている。安全に安心して通学できる通学路の整備など環境整備はどのように進めるのか。

答

当別中の通学路が基本だが、少し範囲が広がるためスクールバスの運行も含めた整備が必要。町教委設置の当別町通学路安全推進連絡会議からの意見を踏まえ、安全な環境を整えていきたい。

ここが
聞きたい

役場庁舎建て替えの方向性

問

役場庁舎建て替えについては、令和2年度に続き関連予算を計上し、事業を本格化させると表明している。今後の方向性やイメージについて、現時点での考えは。

答

防災拠点整備の観点からも老朽化が進む庁舎の建て替えは待ったなしの喫緊^{きつぎん}の課題。新年度は基本構想を取りまとめ、速やかに次の段階に進めるように新庁舎の早期完成に向け準備していく。

ここが
聞きたい

次期町長選出馬は

問 町長の2期目の任期も残り5カ月ほどとなった。7月には町長選挙が行われるが、町長選挙に対する現時点での考えは。

新型コロナウイルス対策に物理的にも、精神的にも注力しており、自身の進退について、じっくり考える状況になかった。また、昨年8月に手術を行い、現状ではいまだに術後の回復過程にある。もう少しお時間をいただきたい。

答

結論としては、まだ決めていない。このところ



期日前投票の会場

【その他の主な質問項目】
公共交通活性化プロジェクト



代表質問

会派爽新 古谷 陽一 議員

質問の
ねらい

商店街の経済対策の強化を！

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、飲食店等から不安の声が上がっている。弱体化しつつある事業者の状況を調査し、強力な対策を講ずるべきと質した。また、ICT※¹を活用したスマート農業の推進、土

地基盤の整備と農業用施設の対策、農業総合支援センターの強化について伺った。さらに、観光資源の活用の推進、とうべつ学園の今後の取り組み、役場庁舎の建て替えと今後の取り組みについて質した。

ここが聞きたい 飲食店等へ経済対策強化を

問 コロナ禍の中、経済の停滞に苦しんでいる飲食店等からは不安の声が上がっている。災禍の長期化で弱体化しつつある事業者に対して、状況を調査し、強力な対策を講ずるべきでは。

答 昨年よりさらにプレミアム率を上乗せしたプレミアム付商品券事業の継続や事業者への水道料減免を実施。また、商工会や料飲店組合と意見交換し、状況の変化に応じた対策を検討していく。

ここが聞きたい 農業総合支援センター支援

問 基幹産業の農業発展が町の発展に必要な重点施策。当別町農業総合支援センターを設立し、取り組みを強化しているが、さらなる強化支援策は。

答 センターの役割は、新規就農者の募集だけではなく、農地の集積・集約化、法人化の推進、スマート農業の進展など、町の課題に取り組んでいくもの。引き続き強化支援に努めていく。

ここが聞きたい 観光資源活用の推進を

問 コロナ禍において観光需要の冷え込みが続いている。道の駅を観光拠点として、町内を周遊させる観光事業に取り組むべき。北海道観光振興機構等との連携は。

答 北海道観光振興機構と連携して情報発信を行い、国内外を問わず、コロナ収束後を見据えた観光誘客促進として、民間旅行者と連携した町内周遊ツアーの取り組みなどを進めていきたい。



商店街で行われたイベントの様子

ここが聞きたい とうべつ学園の開校準備は

問 小中一貫教育が開始され4年を迎え、学力は全国平均以上の成績になった。現在は当別小学校と中学校の2校で、今後一つの学校で一貫教育を進めるに当たり準備は十分に整っているのか。

答 残された時間は多くないので、開校までにやらなければならないこと、開校後も続けていくことなど、めりはりをつけて準備に当たっている。令和4年4月の開校に向け、万全を期していく。

ここが聞きたい 重要課題への体制づくりは

問 役場庁舎建て替えを含めた今後の重要課題に対する体制づくりは。

答 今後においても様々な施策を進める上で組織や体制を見直すことは極めて重要だと認識している。

【その他の主な質問項目】
土地改良整備事業と農村のインフラ整備、防災機能も担う農業用排水施設の対策

※1 ICT…Information and Communication Technology の略。メールやSNSなど通信技術を活用した産業やサービス等の総称。

代表質問 会派緑風会 秋場 信一 議員



質問の
ねらい

人口増へ期待を込めて！

町長が、町の発展のため産業力強化、定住人口増加を重点に、宅地開発や住環境整備に力を注ぐと表明したことに対し、定住促進の効果的な5つの政策について質した。①発電所による町への経済波及②ロイズの

大型投資に連携した新駅周辺開発と住民理解の必要性③子育て世帯向け公共賃貸住宅や町営住宅のバリアフリー化などの今後の住環境整備④定住を支える今後の除排雪対策⑤地域おこし協力隊募集で基幹産業を守れ

ここが
聞きたい

地元産業への積極的な関与を

問 民間事業者による木質バイオマス発電がこの夏から運転開始予定。当町の豊富な森林資源の活用と地元産業への後押しが求められるが、町にどのような効果が期待できるのか。

答 「再生可能エネルギーの町」の実現に大きく寄与するもの。事業者である三井物産と町内企業や研究機関との関わりが生まれ、町産業の発展にとって波及効果が大きく見込める。

ここが
聞きたい

農地の宅地転用への道は

問 民間投資と並走して周辺活性化を図るまちづくりは稀有な機会であるが、町は農業ビジョンを基に発展を図っている。周辺優良農地の農振規制緩和や宅地転用など、道は開けているか。

答 西当別地区は地域未来投資促進法の重点区域。地域の特性や資源を活用し、高い付加価値を創出できる土地利用であれば、産業の誘致や宅地開発などへも道筋をつけることができると考える。

ここが
聞きたい

生活直撃！今後の除排雪は

問 住み続けたい町の形成の中でサービスの充実に努めると述べたが、豪雪地帯の当別にとっては生活に直結する重要課題である大雪の実態をどう捉え、新年度に向けどう改善を図っていくのか。

答 災害に匹敵する大雪と捉えている。今まで培った除排雪システムを単に踏襲するのではなく、いかに斬新なシステムを構築していくのか、町民のお力も借りて探求していく必要性を強く感じた。

ここが
聞きたい

定住を促す町営住宅の構想は

問 子育て世帯向け住宅は今後も期待している。2棟目の改修は1棟目で想定した家族構成に変化を付けるのか。また、東町団地の全体の構想と町営住宅を含めた住環境整備はどのように考えるか。

答 間取り、広さ、対象の家族構成も同じだが、公募型プロポーザルにより、建物の個性や特徴が発揮されることを期待。住環境整備は、見直し中の住宅マスタープランをベースに事業を進める。



田植えの様子

ここが
聞きたい

新規就農と地域おこし協力隊

問 新年度募集が1件のみ。基幹産業を守るためには積極的な募集を図り、定住と就農人口の両面で獲得を目指すべきでは。

答 地域おこし協力隊は定住人口増加につながるが、簡単ではない。定住してくれる体制を整備することが重要と考える。

【その他の主な質問項目】

宮司町長3期目へ向けた町長選挙出馬



代表質問 会派公明 佐々木 常子 議員

質問のねらい 安心・安全の当別町に！！

昨年より新型コロナウイルス感染症が蔓延・拡大し、当別町においても昨年10月に感染者が大幅に増え、緊張の日々であった。一日も早い収束を願い、町民の皆様が安心してワクチンを接種できるように万全の準備を

をしておくべきではない。また今年には災害級とも言える大雪に見舞われ、除排雪体制の問題が浮き彫りになった。町民の皆様が安心して暮らしていただけるように除排雪体制を大きく見直していかなくてはならない。

ここが聞きたい ワクチン接種体制を万全に

問 町内医療機関及び北海道医療大学と連携を図るとのことだが、町民が安心して接種できるよう万全な体制を整えなければならないと考える。医療従事者、介護従事者、高齢者への接種体制は。

答 ワクチンが到着したら、まずは医療従事者から開始する準備を進めている。具体的な日程は情報が少なく明確に言えないが、万全な体制を進めるために特別な部署を設けた。

ここが聞きたい 役場庁舎の建て替えは

問 町民の安心・安全を守るためには防災対策が重要である。役場庁舎の建て替えについて、具体的な取りまとめ作業を進めていくとのことだが、今後のスケジュールは。

答 PFI や PPP^{※1}、リース方式^{※2}など民間活力を利用すると事業期間が短縮されたり、財政負担も軽減される。効率的な事業手法を活用して、新庁舎の早期完成に向けた準備を進めていきたい。

ここが聞きたい 除排雪体制の見直しを

問 安心して住み続ける、人口減少を食い止め、定住人口を増やす観点からも除排雪体制の見直し、強化が必要。豪雪地帯の当別に住み続けるには雪対策は最重要。今後の除排雪について考えは。

答 今シーズンを一つの教訓とし、災害時の対応方法について、これまで培った除排雪システムを踏襲するのではなく、いかに斬新なシステムを構築していくか、全町挙げて探求していきたい。



雪で波打っている道路 (本人提供)

ここが聞きたい 避難所の確保を

問 既存の避難所24カ所では、新型コロナ対策として、パーテーションなどで対応すると発表されたが、避難所を増やすことはできないのか。また防災マップは予定どおり春に配布されるのか。

答 避難所は増やす方向で関連施設と協議している。宿泊施設や、ゴルフ場のクラブハウスなど広いスペースを有する民間施設が候補。防災マップは、令和3年4月号の広報と一緒に配布予定。

ここが聞きたい 小さな単位で訓練や講習を

問 災害時の自助・共助を確かなものとしていくため、小さな単位での避難訓練や講習を呼びかけるなど、手立てが必要では。

答 訓練が一番効果的だと認識しているので、感染対策に十分配慮が必要だが、新年度は訓練や講習会を再開していきたい。

【その他の主な質問項目】
移住促進プロジェクト、地域・在宅医療確保対策プロジェクト など

※1 PFI… 民間の資金や能力を活用して公共事業を行うこと。 PPP… 官民連携により効率的で質の高い事業を行うこと。
※2 リース方式… 民間が資金調達から、公共施設の設計や建設、運営等までトータルで行い、その対価をリース料として支払う契約方法。